



議会だより

つなんまち

2017年4月20日発行

No.204 Tsunan-Town

3月定例会 3/1～3/17

町長施政方針……………	02
平成28年度補正予算・平成29年度予算 ……	03
平成29年3月議会・臨時議会採決結果 ……	04～05
一般・特別会計討論・総括質疑・発議案 ……	05～07
一般質問(町政を問う)・事務局人事 ……	08～13
委員会レポート……………	14～15
町民登場 この人に会いました ……	16



津南町議会

検索

町のホームページでも議会だよりをご覧になれます。
発行：新潟県津南町議会 責任者：議長 草津 進

わかば保育園卒園式

平成29年第1回議会定例会が3月1日から17日まで開催されました。町長施政方針の表明がされ、10人が一般質問に立ちました。教育委員・監査委員を同意し、平成28年度補正予算が審議され活発な議論がされました。会期中に合同常任委員会が開かれ、平成29年度予算について審議を行ないました。町長施政方針と平成29年度予算について、総括質疑を8名、討論を4名が行ない、平成29年度予算を可決しました。議員発議による意見書2件を可決し、閉会しました。

平成29年度町長施政方針

私は、町長就任以来、「強く、どこよりもやさしい町」を基本理念として掲げ、自らの足で着実に歩き続けていける町づくりのために各種施策を進めてまいりました。

今年度は、特に「子育て支援」「婚活支援」などの少子化対策と高齢者の「認知症対策」に力を入れるとともに津南小学校の大規模改修に着手し、教育環境の整備を図ります。また、津南認証米制度の継続と昨年着工いたしました大船団地の竣工を予定しております。一方で、今後のまちづくりの重要な課題でもあります、津南病院の抜本的な改革、保育園の統合、津南地域衛生施設組合のあり方、公共交通体系の見直し、減反政策の見直しに伴う津南町農業戦略の作成などについて、今年中に基本的な方向性を示したいと考えております。

総務関係では、高齢化が進み、高齢者の移動手段の確保、生活支援が課題となっているこ

とから、地域公共交通体系の見直しについて検討してまいります。

消防・防災対策では、家庭用消火器、火災報知器、自主防災組織で行う防災訓練の補助金制度の継続と、十日町地域広域消防本部と連携をとりながら、耐震性貯水槽、小型動力ポンプ等の整備を図り、町民の安全・安心の確保に努めます。

子育て支援少子化対策の関係では、妊産婦医療費の助成、特定不妊治療費の助成、子どもの医療費助成等を引き続き実施するとともに、産婦及び乳児への産後ケアサービスの助成を新たに開始し、子育て支援の充実に努めてまいります。

次に農業関係であります。今後米をめぐる情勢は、消費動向との需給バランスにより米価の変動も予測ができません。状況にあります。一定規模以上の農家は認定農業者になり、収入減少影響緩和対策への加入を積極的に勧めてまいります。

また、引き続き、トップブランドとして、安全・安心・どこよりもおいしい米づくりに取り組んでまいります。津南町認証米については、導入後7年目を迎え、市場、消費者からの信頼を得ることができ、その需要は年々伸びております。

教育関係では、子育て支援の核となる保育園の整備に向けて、保護者からの要望の多い保育サービスに対応できる施設と機能及び用地の検討を行うこととしております。

また、開校から30年以上が経過した津南小学校の大規模改修に着手いたします。主な整備計画といたしましては、教科変更に伴い不足していた特別教室や、支援学級の専用教室の設置、外丸小学校、中津小学校との統合に応じた保護者の集会室や、上郷小学校・芦ヶ崎小学校との児童の交流授業を行う交流教室など、少子化や支援児対応、児童交流に対応することができ、校舎改修を行います。

町の医療を担っていく町立津南病院として、今一番の課題は経営収支の悪化とその課題解決であります。地方の多くの自治体病院が経営改善に取り組んでいるところでありますが、

歯止めのかからない人口減少に伴う患者数の著しい減少、診療報酬改定、医療過疎地における医療需要などにより病院事業会計の収支は改善されず、町の一般財源から運営補助金として補てんしてきましたが、今後の町財政の状況を推測すると、今までのように不足額全額を補てんし続けることは大変厳しい状況となつてまいりました。

早急に町立病院のあり方、これからの町の医療サービスのあり方について、検討を始めたいと考えております。



津南小学校増築イメージ図

平成 29 年度予算

平成29年度予算

一般会計 69億3500万円

重点施策の主な項目

総務費

○定期バス運行補助、地域公共交通運行事業

○地域おこし協力隊設置 8,416万円
1,208万円

民生費

○障害者介護給付費 2億501万円
(施設入所や就労支援)

○要援護世帯除雪事業 638万円

衛生費

○津南病院補助金 3億3,562万円

○子ども医療費助成 1,967万円

○クアハウス津南改修・管理運営 5,775万円

農林水産業費

○多面的機能支払 1億5,698万円

○中山間地域直接支払 1億1,943万円

○農産物認証制度 1,560万円

商工費

○マウンテンパーク津南管理運営費 2,068万円

○ニュー・グリーンピア津南整備費 9,316万円

土木費

○町道改良舗装 1億7,400万円

○住宅改修補助事業 1,835万円

教育費

○津南小学校増築 3億8,851万円

○ジオパーク推進事業 3,460万円

○特別支援教育振興 4,976万円

消防費

○十日町地域広域事務組合負担金 2億9,048万円

特別会計

○国民健康保険特別会計 12億5,785万円

○後期高齢者医療特別会計 1億1,318万円

○介護保険特別会計 19億1,522万円

○簡易水道特別会計 1億4,615万円

○下水道事業特別会計 3億8,018万円

○農業集落排水事業特別会計 2億8,944万円

○津南町病院事業会計 18億1,871万円

平成28年度補正予算

一般会計

補正額 ▲1億7,355万円

総額 78億2,967万円

主な内容

中条病院運営 ▲2,506万円

放課後児童指導員金 ▲270万円

農業集落排水事業特別会計繰出金

▲1,381万円

町道改良舗装 ▲2,246万円

町営住宅工事 ▲4,685万円

下水道事業特別会計繰出金 ▲2,328万円

特別会計

○介護保険特別会計

補正額 5万円

総額 18億1,856万円

○簡易水道特別会計

補正額 703万円

総額 1億5,023万円

○下水道事業特別会計

補正額 3億9,352万円

総額 3億9,352万円

○農業集落排水事業特別会計

補正額 2億9,530万円

総額 2億9,530万円

平成28年度補正予算(臨時議会)

一般会計

補正額 2億3,673万円

総額 80億6,641万円

主な内容

町立津南病院補助2億4,169万円

介護保険特別会計繰出金

▲887万円

平成29年3月議会採決結果

議案番号	件名	表決状況												採決結果	
		半戸義昭	村山道明	石田タマエ	風巻光明	恩田稔	栗原洋子	中山弘	津端眞一	大平謙一	河田強一	藤ノ木浩子	吉野徹		桑原悠
承認第1号	専決処分の承認について(平成28年度津南町一般会計補正予算(第9号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	可
議案第1号	津南町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	可
議案第2号	津南町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	可
議案第3号	津南町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	可
議案第4号	個人情報の保護に関する法律及び行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	欠	○	○	可
議案第5号	津南町税条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	可
議案第6号	津南町立保育所条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第7号	津南町在宅介護支援センター条例を廃止する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第8号	津南町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第9号	津南町介護保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第10号	津南町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第11号	津南町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第12号	工事請負契約の変更について(大船町営住宅建設工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第13号	工事請負契約の変更について(大船町営住宅電気設備工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第14号	平成28年度津南町一般会計補正予算(第10号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第15号	平成28年度津南町介護保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第16号	平成28年度津南町簡易水道特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第17号	平成28年度津南町下水道事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第18号	平成28年度津南町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第19号	財政調整基金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第20号	平成29年度津南町一般会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	可
議案第21号	平成29年度津南町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	可
議案第22号	平成29年度津南町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	可
議案第23号	平成29年度津南町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	可
議案第24号	平成29年度津南町簡易水道特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第25号	平成29年度津南町下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第26号	平成29年度津南町農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第27号	平成29年度津南町病院事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

●採決結果の記載方法(可=賛成多数で可決等の場合 否=賛成少数で否決等の場合)

●表決状況の記載方法(議員個々の賛否:賛成=○・反対=×・欠席=欠・除斥=除:議長は表決に参加できません)

平成29年第1回臨時議会採決結果

議案番号	件名	表決状況														採決結果
議案第28号	津南町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第29号	財政調整基金の処分変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第30号	平成28年度津南町一般会計補正予算（第11号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第31号	平成28年度津南町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第32号	平成28年度津南町介護保険特別会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第33号	平成28年度津南町病院事業会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

一般・特別会計討論

一般会計予算

反対討論

栗原 洋子

第一に津南病院が運営の危機に陥っている重大な問題だ。大きな赤字を生んだその大きな原因は、人員確保をせず看護師不足による病床削減が収入減をもたらしたと考える。国の医療費抑制政策の中で、十分な協議も無く空き病床の利活用をすすめる運営審議会に理念も具体的な方針も示さない姿勢は、住民に対しても非常に無責任である。人員を確保し安心してかかれる町立病院にすることは開設者である町長の最大の責務である。次に町長は農業をうたうのであれば国の言いなりではなく、小規模農家に対しても手を差し伸べ農業を生きがいとし、所得を増やす政策をしていただきたい。子育て支援・若者支援に向け正規雇用を増やし充実させることが強く優しい町を現実にする。ジオパーク、大地の芸術祭に多額の税金を投入、住民主体で、発展に向け支援しないと継続は難しい。国の悪政の防波堤となり町民に寄り添った町政を切に願う討論とする。

賛成討論

石田タマエ

自主財源の柱となる町税が対前年比3.29%増と見込まれ、自主財源比率が改善してきている。具体的な施策では、子育て支援として、産後ケアの助成を新たに開始し、子供を産み育てやすい環境を整う。教育面では、津南小学校の増改築で支援児対応の教室や交流スペースが計画され、よりよい学びの場へと環境が整う。更に、各学校で支援児対応の支援員を町独自で加配していることは「寄り添った支援児教育」をより深めていくことと評価をする。農業政策では、7年目を迎える津南町認証米の助成制度を継続し、津南産米の位置づけをより強固なものへとつなげる。又、畑作物の新たな産地化に向けた取り組みは、TPPの見通しが立たない中で、ゆるぎない津南農業へと期待をする。一方、今後の重要な課題として津南病院の抜本的な改革が求められている。町民が安心して暮らすために、住民と課題を共有し、地域医療のあり方を探っていかねばならない。

国民健康保険特別会計

反対討論

藤ノ木浩子

国民健康保険は、いよいよ2018年から財政運営の責任主体を市町村から都道府県に移行する「国保の都道府県化」が行われようとしている。政府は各市町村の医療費削減の努力を評価して予算を配分するような制度導入を狙っている。国保の都道府県化は、医療費抑制を狙うものと考えられる。国保には、高齢者や低所得者が多く加入しており、財政基盤が脆弱といった問題を抱えている中で、国は国庫負担を減らし続けてきた。平成27年からは国が低所得者対策として、保険者支援の拡充で約1700億円を投入したが、町では都道府県化をにらみ、国保料の値上げが行われてきた。今年度一般会計からの法定繰入をなくし、国保基金から3000万円投入。保険料は据え置きとしたが、私は町民の暮らしを支える町政として法定繰入も行い、1世帯1万円の軽減を求める。低所得者、高齢者が多い国保に対し、負担だけを強める姿勢に納得できない。

介護保険特別会計

反対討論

藤ノ木浩子

介護保険制度は今、社会保険改悪の先頭を切って制度改悪が毎年行われている。今年からは要支援1・2の通所介護と訪問介護が保険給付から外され、自治体の考え次第で事業の進め方や質が異なってくる。この間、私は、現行相当のサービスを維持していただきたいことや相談窓口では基本チェックリストで振り分けを行うことなく、全ての相談・利用者には介護認定申請を先行して保証するよう求めてきた。町としてもその立場で進めて頂ける方向となり、大変よかった。また、在宅サービスへの利用料軽減や在宅介護手当が継続されていることは嬉しく思っている。しかし、国の社会保障削減の中で、更なる負担増と制度改悪が際限なく行われている。町民からも利用料負担で悲鳴の聲が上がっている。施設利用料が月十数万円では、国民年金では入れない。社会保障削減路線をストップさせ、安心して利用できる制度となるまで私は反対する。

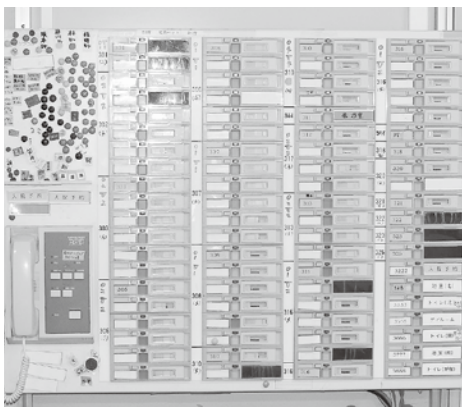
病院事業会計

賛成討論

村山 道明

私はこの予算案がベストの予算であるとは考えないが、いま病院長、副院長を中心に、「寝たきりや認知症をできるだけゼロに近づけ、健康寿命を延ばすこと」を目標とし、生活習慣病や精神内科の診療を増やすなど予防医学へ取り組みんでいる。先般、示された「病棟の活用報告書」の提言を、前向きに対処されることを求める。

地域で暮らしている町民のため、医療体制を維持し、充実させていくことは、当然である。本予算は、最善の予算とはいえないとしても、今日の置かれた状況を好転させるべき、一層の努力を重ねるよう、特に意見を付して、賛成とする。



入院患者の命をつなぐ回線

総括質疑

残任期間にどこまで実現か

大平 謙一

問 町長の施政方針には強くてどこよりもやさしい町とあり、町民にとつて期待される政策でもある。町長任期があと1年数か月である。どう実現に向けて実行するか。

町長 基本理念のキーワードを育と定め、子育て支援、保育料の軽減、子育て支援住宅を実現してきた。農業においては津南ブランドの確立に力をいれている。認証米の継続や津南ブランド力のアップは域内所得向上につながっている。

病院の巨額赤字補填は

村山 道明

問 病院運営については、運営補助金は更に増えると考ええる。療養病棟利活用検討報告書で「介護療養型老人保健施設」へ転換が示された。今後の方向性を問う。

町長 巨額な赤字補てんに対しては、魚沼医療圏の中で町立病院の運営のあり方をどうするのか、入院、外来全体の医療

提供のあり方を抜本的、総合的に導きたいと考える。

庁舎内の連携は

恩田 稔

問 移住・定住を促進するには住宅が必要になる。総務課は空き家の調査、地域振興課はホームページでの情報提供、建設課は空き家再生等推進事業とそれぞれの課で空き家対策に取り組んでいるが連携はできているのか。

町長 連携については課長会議で行っている。地域振興課の移住・定住窓口の強化を図る中で、地域おこし協力隊などの外部人材も検討したい。

公共施設に対する町長姿勢は

桑原 悠

問 津南病院、保育園、衛生施設組合に踏み込んだ決断を行うとのことだが、他の施設も一つ取ったら一つ手放す位の改革が求められるかどうか。一つ取ったとしてもあらかじめ引き際を決めておくべきではないか。

町長 人口が減少するなかで、施設の維持管理に相当の経費がかかる。各施設の判断を迅速に行いたい。あらかじめ引き際を設けておくことは難しい。

為すべき決断からは逃げない。

保育園整備計画は

石田タマエ

問 平成26年3月に津南町保育園等整備検討委員会の答申によると平成30年度には保育園を2園にするとの計画であった。平成29年度事業計画では用地取得さえも予算計上されていない。延長・早朝保育等の環境整備も含め今後の整備計画を問う。

町長 答申どおりに進んではないが、平成29年度は具体的な計画を策定する年度とする。

人口増加の手腕は

中山 弘

問 田舎暮らし体験、移住、定住、空き家バンク等、募集のあり方に問題がないか。

町長 定住成約できない要因は賃貸料、売買価格が高額であること。場所が中心地からなれていること。修繕が必要なことや下水道の繋ぎ込みがされていないことなどである。

情報発信はホームページのみで受身な体制である。その後の対応ではグリーンツーリズムで農家民泊後、手紙や物品の交流があるようだ。

入学準備金を入学前に

藤ノ木浩子

問 就学援助制度の入学準備金を3月に支給できるよう改善できないか。2017年の政府予算では、要保護世帯に対する準備金の国の補助単価が2倍になった。要保護世帯に對しても引き上げとなるか。

町長 前年の収入状況と4月以降の状況で審査をするので、これまで通りで進めたい。県内では妙高市、新潟市、村上市が実施している。単価が2倍に増額されたことは確認できていないが、でき次第検討する。

病院運営に具体的な考えは

栗原洋子

問 運営審議会に対し抜本的な具体策も示さず諮問している。町長自ら理念、経営方針を示した中で初めて審議会が意見、アドバイスができるのではないか。

町長 私が病院をこうしたいと出せばそれがありきになる。そうではない。もっと自由な議論を広範な人たちから考えている。あるべき姿論を決めている段階ではない。委員と私の思いは全く同時スタートで考えさせて頂く。

発議案・陳情

▼発議案

核兵器禁止条約に対し積極的なイニシアティブを発揮し、速やかな締結を求める意見書の提出について

平成3年に「核兵器廃絶平和の町」を宣言した当町において、核兵器使用による武力行使の中止を求める。

↓全員賛成

▽陳情

「協同労働の協同組合法（仮称）」の速やかな制定を求める意見書の提出について

協同労働の協同組合は、組合に参加するすべての人が協同で出資し、経営し、働く形をとっている。誰もが仕事を通じて安心と豊かさを実感できる地域社会の形成に貢献できるようにするとともに、様々な人々に社会に参加する道を開く制度として制定するよう要請する。

↓全員賛成

2点は採択され
意見書を国に提出します。

教育委員会委員任命について



柳沢 博氏

◇賛成多数で同意

・昭和29年4月17日
・津南町大字下船渡丁1443番地
・山形大学農業部卒業

S59.4 中学校教諭
H20.4 中学校校長
H22.4 十日町市教育委員会
H25.4 十日町市西小学校校長
H27.4 津南町教育委員会委員

監査委員選任について



藤ノ木 勤氏

◇賛成多数で同意

・昭和27年6月13日生
・津南町大字秋成7833番地
・新潟県立興農館高等学校卒業

S52.2 津南郷土地改良区勤務
H19.4 津南郷土地改良区総務課長
H20.4 津南郷土地改良区事務長
H24.4 農業
H28.5 津南町社会福祉協議会理事

人
事

町政を問う!!

一般質問 (10議員)

- 1

半戸義昭 議員 (8 ページ)

1. 農地の維持管理、荒廃への対策は
2. 新規就農者への自立対策は
- 2

中山 弘 議員 (9 ページ)

1. 小規模、兼業農家の今後は
2. 地域おこし協力隊の対応は
- 3

大平謙一 議員 (9 ページ)

1. 集落営農推進策は
2. 米価の下落どう防ぐか
- 4

石田タマエ 議員 (10 ページ)

1. 空き家再生、解体推進事業の活用は
2. 公共交通の見直しの進捗状況は
- 5

恩田 稔 議員 (10 ページ)

1. 持続可能な町づくりは
2. 飯山線の活性化と観光圏は
- 6

藤ノ木浩子 議員 (11 ページ)

1. 病院経営の今後は
- 7

村山道明 議員 (11 ページ)

1. 農業後継者の育成支援は
2. 大学生の政策提案の事業化は
- 8

桑原 悠 議員 (12 ページ)

1. 企業立地の推進は
2. UIJ ターンの促進策は
- 9

桑原 洋子 議員 (12 ページ)

1. 看護師確保と今後の津南病院は
- 10

風巻光明 議員 (13 ページ)

1. 公共施設等管理計画の策定内容は

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

守れるか、津南の農地

問 新規就農者の自立支援策について問う。

と考えている。

町長 農地中間管理機構の交付金事業を活用しながら、担い手へ農地の集積をはかり、大規模農家、兼業農家など経営の異なる農家が役割分担を行い連携していくことが、中山間地農業では必要であると考えている。また、中山間地域等直接支払制度、多面的機能支払制度などを有効活用し、水路、農道の維持管理の軽減を図り、共同活動への支援をおこなう。地域全体が相互に助け合うことで農地の維持、保全につながる

問 農地の維持管理、荒廃地にならないよう、その施策について問う。

農業後継者不足解消、新規就農者支援対策は



半戸義昭 議員



頑張る新規就農者

町長 平成7年に新規就農者の受け入れを開始し、平成28年度までに30組を受け入れ、21組が就農している、就農率は70%である。また、平成24年度から青年就農給付金事業に取り組み、生活費補助、また、年2回県普及指導センターと共に就農状況の確認と営農指導を行っている。県より認定を受けた指導農業者の方との相談会なども開催している。新規就農者の自立には、行政だけでなく地域農家の支援、協力が大事であり不可欠である。

兼業農家と地域おこし協力隊の今後は

荒廃農地の有効利用対策は

問 人口減に伴い高齢化が進み、荒廃農地となっているが有効利用の対策はあるか。

町長 中山間地は農地維持や環境保全など役割は大きく、小規模兼業農家の存続は重要である。簡易な区画整理や水路改修により、農作業の軽減を図ると共に農業機械の共同利用を進める。兼業農家には地域農業維持のため、頑張っていたきたい。

農地維持を担う後継者対策は

問 若者に伴侶ができれば農地維持につながるが後継者対策は。

町長 結婚適齢者の晩婚化が進んでいることは、農業のみならず



中山 弘 議員

商業においても深刻な問題であり生きがいや、やる気の低下に繋がりが心配している。町としてもしあわせ♡応援隊を中心に各種イベントに取り組んでいるが成果が出ない。今後は近隣市町村と連携し、広域でのカップリングを期待している。

地域おこし協力隊の対応は

問 協力隊員は少なく長期滞在もないが、募集のあり方や対応が悪いのでは。

町長 実施自治体数は年々増えている。町は集落や地域からの要望により募集をかけており、Uターン者や口コミによるPRなどの取り組みをしている。隊員への活動要望を地域が認識することが必要である。



協力隊活動中

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う！

農村をどう守って行くのか

担い手、認定農家が高齢化

問 現在の状況は、後継者不足と担い手の高齢化など数年後は壊滅的な状態になりかねない。共同作業、集落営農の必要性は以前から指摘されているが、上手く体制ができていない。今こそ行政が主導で地域に向き、一緒に現状打開策を考える時ではないか。町長の考えは。

町長 機械の共同利用や集落営農によるコストダウンとどこかの米にも負けない美味しい米の生産により、担い手が育つものと考え。機械の共同利用や集落営農など相談があれば、いつでも出向き説明する。

問 集落の農業構成員を掌握しているのか。

振興課長 各集落の年齢構成



大平 謙一 議員

を調べていないので分からない。
問 現状を把握して行政として出向き、説明できないか。

町長 地域・集落・団体などで中核的に動く人がいないと難しい。

米価下落をどう防ぐのか

問 平成30年産から減反が廃止され、米価下落が予想されるが。

町長 政府の需給見通しを参考に、農家、集荷業者、行政が話し合い、需要に応じた生産を行うことになる。ナラシ対策と収入保険制度の創設などで収入を補うことになる。



基盤整備といっしょにできた(株)笹沢ファーム



公共交通の見直しを早期に着手を

補助事業の活用が できないか



石田 タマエ 議員

問 空き家調査を実施した結果はどうか。国土交通省の「空き家再生等推進事業」を活用して解体費用の圧縮や、リフォームして障害者や高齢者のシェアハウス等に活用できないか。

町長 空き家総数383件のうち、再生可能212件、危険空き家20件であった。調査を深め、貸出可能住宅は空き家バンクに登録したい。解体は、個人の資産に税金を投入することの公平性などを慎重に対応する必要がある。再生には、貸出、売却の意向を確かめ、移住対策や高齢者・障害者のニーズ調査のうえ検討したい。

公共交通の見直しは

問 当地域は自家用車に代わ

る移動手段が乏しい。津南から十日町市へのアクセスは、医療に限らず学校、福祉施設などへのニーズが高く、今後ますます高まっていく。特に十日町市へのアクセスは早急に方向づけが必要と考えるが、カーシェアリングの社会実験ができないか。

町長 今後の通園通学の再整備・高齢者の移動手段が重要課題であり、公共交通協議会で検討していく。カーシェアリングの社会実験は既存のバス路線区間では難しいのではないか。



公共交通の核となる路線バス

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う！

持続可能な町づくりは

平成29年度予算の減額は



恩田 稔 議員

問 自律を選択し、12年が経過する。10年後の人口は8350人程度になると予測されるなか、平成29年度予算案は7.57%減、金額にして5億7千万円という大きな減額である。さらに、減額にもかかわらず、町の預金である財政調整基金を1億9千万円も当初から取り崩さなければならぬほど財政は厳しいのか。

町長 減額の要因は昨年、町営住宅や障がい者福祉施設建設の大きい事業があつたためであり、2、3年前とほぼ同レベルの予算規模と認識している。歳入は地方交付税をはじめ依然として厳しい状況にあり、歳出の社会保障費は増加傾向にあるため、財政はいっそう厳しくなると予測される。

飯山線の活性化は

問 昨年11月、44年ぶりのSL運行は津南の主なビューポイントだけでも町内外から5千人を超える大イベントとなった。町はどう評価したか。

町長 町支出もあつたが費用以上に成果があつたと考えている。一昨年から観光列車「おいこつと」も運行しており、今後は津南駅に降り、宿泊してもらう仕組みづくりを検討したい。飯山線沿線地域活性化協議会と連携し、SLの定期運行を要請したい。



地域総出の歓迎

経営診断書に立ち返るべきでは

病院経営は一般会計の 財政運営と異なる



藤ノ木 浩子 議員

問 約6億円の赤字見込みが報告された。経営診断書では「支出削減によって収支均衡を目指す手法を病院事業にそのまま適用するのは適当ではない。一般会計の財政運営と異なった視点での経営改善に取り組む必要がある。」としている。これを真正面に受け止めるべきではないか。

町長 診断書の中で病院の課題を指摘されている事項について、病院運営審議会に改革の方策を諮問し、答申をいただいたなかで改革を実践してきた。

問 職員を減らし続けている一般会計と同じ手法でやってきたことが経営悪化をうみだしているのではないか。

町長 医師、看護師の法定充足

率は達している。一番の要因は、激減している入院患者数で、50%前後を推移している。

問 病院経営には、診療報酬について専門的知識のある職員がいなければ成り立たない。専門家が育っているのか。

事務長 専門職員が委託を受けている病院と比べると若干劣ると思う。

問 病院運営審議会に、病院の今後のあり方、医療提供について、3回目の諮問は丸投げであり無責任な姿勢だ。撤回すべきかどうか。

町長 審議会の答申は行政内部のみ通用する。外部的決定とはならない。広く意見を求めたいので撤回は毛頭ない。



在宅生活を支える訪問介護

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う！

農業大学校修学金貸与創設を

農業後継者を志す学生 に支援が必要



村山 道明 議員

問 当町の基幹産業は、農業であり農業振興なくして発展はない。農業後継者の育成を支援することが急務である。将来、就農の志をもつ農業大学校などに修学する学生に、付与する修学金が必要である。

現在、看護師など資格を得るために修学する方へ奨学金があるが、貸付制度で借りた後5年間就農すれば返還免除とするなど、前向きに検討すべきかどうか。

町長 新潟県奨学金や新規青年就農給付金事業の準備型を就学期間の2年間、年150万円の給付金を受けることができる町では町育英資金奨学金があり、大学など月額3万円以内の援助がある。給付型奨

学金については考えるべき時にきているので、今後検討したい。

学生提言政策の事業化を

問 昨年開催された「公共政策フォーラム2016 in 津南」での論文について、表彰された政策提言を事業化して欲しいかどうか。

町長 事業化は、当町にあった施策として実施できるのか、事業効果や費用対効果など検討する必要がある。職員には、今後の施策に活かされるものがあれば検討するよう指示している。

【大学生による政策コンペ 審査結果】

- ◇日本公共政策学会賞(最優秀賞)
…明治大学 市川ゼミナール 公共政策班
空き家を助雪し町を元気に！～あなたもオーナー「一口家主制度」～
- ◇津南町長賞…中央大学 総合政策学部 細野助博ゼミナール
癒される雪国一津南～雪がつながる人と人～
- ◇津南町議会議長賞…明治大学 木寺ゼミ
地域留学が自然と人をつながるまち～新しいコミュニティのカたち～
- ◇津南教育長賞…関西大学 永田ゼミナール
雪資源を活用した湯治文化の再構築による地域活性化対策
- ◇日本公共政策学会特別賞…北九州市立大学 植原ゼミナール
豪雪地域による「スノープライド」を軸としたまちづくり
- ◇公共政策フォーラム2016 in 津南実行委員会特別賞
…日本大学 中川ゼミナール
帰省型観光の提案 豪雪地帯が目指す理想のまちづくり

実行力が高まる誘致条例に変えては

工場等誘致条例は 変えるべきでは



桑原 悠 議員

問 今の工場等誘致条例は、時代にそぐわなくなっている。建物などの取得が前提となっており、賃借で立地する企業が想定されていない。企業立地を推進し、新たな財源を確保したい町にとって本条例を変える必要はないか。

町長 地方では従来型のハード中心の企業誘致が通用しなくなっており、今国では農村地域工業導入促進法を改正し、ソフト産業にも支援対象を拡大する方向だ。町としても製造工場を持たず、事務スペースや在宅で事足りるという企業も想定し、条例改正がいいか、新たな条例制定がいいか検討する。

移住定住促進策は 改善の必要ありでは

問 地方での生き方に魅力を感じ、U・I・Jターンを希望する若い人が行政に聞きに来た時、各課を総合的につなぐ機能が必要ではないか。

町長 新規就農者の相談、受け入れは長年試行錯誤し実績を上げてきた。一方、それ以外のU・I・Jターンに対して、問い合わせ窓口の三元化を積極的に考えていく。職員一人あたりの業務が多く、専属で職員を配置することは難しいが、やり方を工夫する。



集まる人がイノベーションを生んでいる
十日町ギルドハウス

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

病院開設者としての経営責任は

任命権も町長が先頭に



桑原 洋子 議員

問 津南病院の大きな赤字の最大の原因は看護師確保への町長姿勢がこの事態を招いているのではないか。専門職員配置を提案してきたが具体的に何を行ってきたか。任命権を持つ町長が先頭にあらゆる手段でやらなければ難しいと思うがいかがか。

町長 大きな赤字の原因は当町のようなへき地にある自治体病院としては、不採算部門であつても医療ニーズに懸命に当たってきた。年々きびしさを増す国の医療制度、交付税制度の改正、人口減少による患者数の減少などによるものと考えている。看護師確保では奨学金制度や、十日町病院併設の県立附属看護学校として3年後に開設のめどがついた所である。

問 慢性期病床を含む現62床を赤字になっても維持し入院は断らないとの考えに変わりないか。

町長 維持、継続が適当か今後、「病院運営審議会」で十分議論され答申されると考える。

問 病院開設者としての経営責任をどう思っているのか。

町長 私は開設者であるが、経営のあり方全てに口を挟む立場ではない。

問 経営責任はどこにあるのか。

町長 町立病院だから町にある。運営審議会に経営責任はありません。



町民に寄り添う津南病院を

公共施設の修繕・更新の投資と方針は

町長 財政負担を見極め積極的に考えていく。人口減により縮小社会と云われるが、行政上経験がない。英知を結集し様々な声を念頭に入れ、正しい

町長 公共施設等総合管理計画の維持管理・修繕・更新の実施方針は。
利用状況を踏まえ施設の重要度や劣化状況に応じ、「PPP（公民連携）、PFI（民間資金活用）」が可能か、施設の譲渡や委託等を視点とし策定中である。

公共施設の更新、廃止の方向性を明確に



風 巻 光 明 議員



築30年を経過した「クアハウス津南」、今年はプール全体の天井張替を予算化

町長 そのために出来るだけ内部留保を高めるように運営してもらいたいと願っているが難しい。今後の観光動向を見極め「PPP、PFI」による指定管理、売却など全ての可能性を考えていく必要がある。

町長 町が他の市町村と圧倒的に違うのは膨大な敷地・建物を持つ観光施設を持っていることだ。将来大幅なリニューアル、建替えが必要で何十億もかかる。施設の再建策は最重要課題で抜本策を進める必要があるのでは。

観光施設の抜本的改革を

道を模索する。

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う！

事務局人事

お世話になりました



小林 武

(地域振興課)

議会事務局に

配属当初、よく先輩に「事務局業務はとても貴重な経験。その後の職務に活かせるように。」と激励を受けたことを鮮明に覚えております。

この間、二百号を迎えた議会だより発行、住民懇談会、議会ネット中継など町民の皆様により関心を持っていただく議会活動に、少しでもお役に立てたか気になるところです。

また2年連続十回以上の本会議では、議員の皆様の実績な議論に接することができ、かけがえのない経験をさせていただきました。

3年間でしたが、議員の皆様、事務局の皆様には大変お世話になり深く感謝申し上げますとともに、町勢の発展を目指し更に活発な議会をご祈念申し上げ、異動の挨拶とさせていただきます。

よろしくお願いします



石沢 和也

(総務課から)

このたび議会

事務局に配属され、重責を担うことに身の引き締まる思いであります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

近年は、人口減少、少子高齢化が進むことにより、町を取り巻く環境が変化し、地域をはじめとする町民の生活にも大きな影響を及ぼしています。これからの「住んで良かった」と思える町づくりには、町民と行政そして議会がひとつになり、津南町の伝統を守りながら新たな時代に向けた改革と目指すべき方向への取り組みの継続が重要であると思います。

微力ではございますが、本会議を始めとする議会運営、様々な議員活動など、事務局の務めをしっかりと果たせるよう努力してまいります。皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

委員会レポート

総文福祉常任委員会

町教育委員会との懇談会

◆とき 1月19日(木)

◆ところ 役場第1委員会室

◆内容 当委員会では、「子育て支援や教育の充実」は町の根幹をなす課題」との認識から、町教育委員会から新年度の課題や取り組みなどを聞き、懇談しました。

町教育委員会からは、

① 延長・病児病後児保育など特別保育の取り組みを前進させたい。

② 先を見据え、町の保育環境を充実させるために、新保育園の建設計画を加速させたい。

③ 津南小学校を増築し、それぞれの児童に合った学びの環境を整える。

④ 津南中学校の多目的教室に冷房設備を設け、向学精神を伸ばす。

⑤ 旧中津小学校をジオパークの拠点施設にする取り組みを前進させたい。

などが話されました。

当委員会の委員からはさま

ざまな意見・要望が出されました。なかでも、「新保育園の建設に關係なく、現状で特別保育を充実させることはできないか」、「新保育園の建設を進めるために、どのような過程を踏むべきか」など今後の保育環境に高い関心が集まりました。

それに対して町教育長から、「全国的に保育士不足のなかで津南町も例外ではなく、限られた人的資源で特別保育をはじめ保育環境を充実させるには、新保育園を建設し、効率的に運営して特別保育にあたる人員を生み出したい」と語られました。

懇談会を終えて

懇談会では上記以外にも話は尽きませんが、町では保育園、小学校、中学校が連携し、子供のつまずきを早い段階からサポートし、その後の長い人生を心ゆたかに送れるように力を入れていくことも特筆します。親、地域及び教育行政には、自由経済、情報社会、人口減少社会など常に時代感覚をとらえることが求められています。今後も見識を深め、町の子供たちに良い環境づくりに反映させていきます。

(担当 桑原 悠)

津南病院との懇談会

◆とき 2月14日(火)

◆ところ 津南病院会議室

◆内容 平成28年度決算は、大幅な赤字になる見込みであると病院側から説明を受けました。収入面では療養病床の休床、入院外来患者の減少が要因です。背景には人口減少や医療の高度化があります。支出面では、診療科の充実のため多くの非常勤医師も確保しているため、人件費がかさんでいることが主な要因と考えます。今後は現実を見据えて抜本的な経営改革を行うと報告を受けました。

その他、具体的な報告は次の通りです。

① 病棟は62床だが、1日平均の入院数は35人。稼働率は56%となっている。



② 4月開設の訪問看護ステーションは1日平均2.3人が利用している。

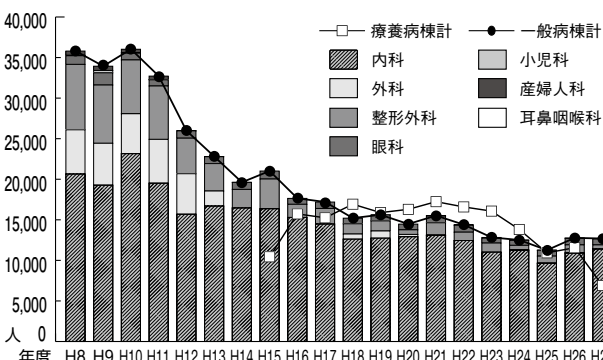
③ 平成29年度は屋上防水改修工事と3階にナースコール装置を設置する。

懇談会を終えて

町の会計から、多額の運営補助を受け続ける津南病院の運営のあり方を鮮明にし、地域医療を守るために抜本的な改革が必要であること、議会も結果においては、改革のために提言や判断を行っていくことだと考えました。

(担当 村山道明)

年度別入院患者数



産業建設常任委員会

津南町農協・
農業委員会との懇談会

◆とき 1月25日(水)

◆ところ 町役場大会議室

◆内容 農協より28年度の実績、29年度の計画の概要の説明、農業委員会から建議要望、当常任委員会から建議要望の内容について説明があり、出席者から農業に関わる多くの問題点が指摘されました。

小規模基盤整備への補助制度、土地の利用状況の変化、深刻な農業後継者不足などが提議され、特に後継者問題について



懇談会を終えて

て熱い議論がなされました。意見として、子どもの時から農業に関心を持つ教育、新規就農者に対し、町・地域の支援がもっと必要なのではないか、農業公社で学ぶより農家・指導農業者などの下で研修を受けたほうが良いなど多くの意見が出されました。

後継者不足について、養豚農家はじめ経営のしつかりした農家は後継者がいるとの意見を聞きそこにこそ農業問題の解決策があるように気がしました。今後課題にしっかりと取り組みます。

(担当 半戸義昭)

道路除雪状況調査

◆とき 2月23日(木)

◆ところ 町内各所

◆内容 主に町道の除雪状況や消雪パイプ布替え工事後の状況を調査しました。町内の道路は関係各位の努力のおかげで良好でした。しかし、津南の地形から見ても雪崩の危険性はいたるところにあり、特に大場からニュー・グリーンピア津南にかけては、今後も注意が必要です。

調査を終えて

なかなか進みませんが、危険なところには雪崩柵を設置するように今後も要望して参ります。また一部水量が不足している消雪パイプもあり、雪解け後の調査を依頼します。

(担当 恩田 稔)

マウンテンパーク津南
現地調査

◆とき 1月5日(木)

◆ところ マウンテンパーク

◆内容 昨年7月から(有)イングリッシュアドベンチャーのキャンプ本拠地として、新しくスタートを切ったマウンテンパーク津南。施設の利用状況や町が行った改修等を確認するために現地調査を実施しました。

調査日には、3泊4日のキャンプに小学1年生から中学3年生まで120人の子どもたちが参加していました。キャンプを通して様々な体験をし、出会い、そして自尊心を向上させ、豊かに大きく成長できるように、約40人のスタッフが支援しているそうです。原則、日常会話はすべて英語で、初心者から帰国子女までレベルに合わせ

てプログラムがあります。

また、国から地方創生の交付金を受け約5200万円の改修費用を投じたロッジなどの改修箇所について、町地域振興課長、社長のパドック氏、管理者の油田氏から説明を受け、現地確認を行いました。

調査を終えて

英語キャンププログラムは、少々厳しくも思いましたが、子どもたちが懸命に立ち向かっている姿を見ると、かけがえのない体験学習であると感じました。津南の子どもたちは参加しておりませんでした。今後、体験できるような方策の提案をしていきます。

(担当 吉野 徹)





町民登場

この人に会いました…

やま だ ゆう き
山田 結希さん (陣場下)

■自己紹介

2年前に横浜から来ました！建築・介護福祉士・親善大使・ディズニーキャストなどをしていました。

人と楽しいことが大好きです！

Q. 津南町の第一印象は？

トンネルを抜けたら雪景色！まさにそれでした。粉雪という曲がありますが、津南にきて「これのことか！」と思ったのが印象的です。

Q. 津南町の環境はどうですか？

とにかく食べ物が美味しいし新鮮です。売っているゴボウの太さが神奈川のスーパーの倍のサイズでビックリしました。実家に帰るときは買っていきます。



Q. 津南の人と仲良くなれましたか？

みなさん優しくして下さい、知り合いや友達も増えて来ました。津南の方は気さくで優しい人ばかりです。

Q. 津南でやってみたいことは？

大学では建築や色の勉強をしていたので、今まで経験してきたことを山田建設で発揮して、津南でも活かしていきたいです♪

■最後にひとことどうぞ！

生後6ヶ月の娘（咲良）もいて、はじめての子育てで奮闘中です！

ぜひ遊びに来てくださいね♡

第2回定例会は6月14日(水)に開会予定です。お気軽に傍聴においでください。



大割野雪まつり会場

たまげた（驚き）「津南雪まつり」、津南町始まって以来の人波でした。一年近く計画、昨年の反省見直し会議をおこない、準備万端？当日を迎える。早朝は小雪が舞う。「おいおい大丈夫か」とまたしては天を仰ぐ。灯籠製作はまだか、露店の準備はと皆、右往左往している。ちらほらとお客様が見え始め、あつという間に会場は人ひと人でうまつた。「おじさん写真撮ってえ」「かまくら入っていい」疲れが飛ぶ一瞬。皆、笑顔になった。交通渋滞やシャトルバス待ち時間等、課題はあるが、この喜びは正に町が丸となった賜物であろう。（中山）

編集後記